

後人登場

仲間と出会い話したい

今月の本人 宮城県支部・丹野智文さん（40歳）
富山県支部・松島研二さん（66歳）

2月27日、厚生労働省が企画する5回目の「若年性認知症施策を推進するための意見交換会」として、本人の声〜安心と希望にむけた施策を求めて〜が都内で開かれました。「家族の会」からは、会報2・3月号で紹介された宮城県支部

の丹野智文さんと、富山県支部の松島研二さん、それぞれの家族、サポーター、高見国生代表が出席しました。他に全国から4名の本人がご家族とともに出席しました。その時の様子を紹介します。

同じ思いの人たちと一緒に生きたい

丹野さんはこの日、40歳の誕生日を迎えました。確定診断がつくまでに時間がかかったこと、その間の思いや家族のことを話しました。特に、中学生の娘さんが「アルツハイマー病」についての本を読み、「お父さんの病気は大変なんだね」と言った時、改めて今後の病気の進行のことや生活のことを考えたというエピソードを紹介。「自分と同じ思いの人たちと一緒に生きたい。40歳以下で大変な思いをしている患者を救済してほしい!」と訴えました。

松島さんは、診断から10年間の日々の気持ちや生活について話しました。デイサービスや認知症カフェ以外に、体力維持のためのジム通い、英会話教室などにも通っているという生活の様



「家族の会」からの参加者。前列中央が丹野智文さん（2月27日、東京・大手町）

子、「家族の会」の仲間との交流について語りました。また、能力に合った仕事をしたいという希望も述べました。

その他に出席された本人4名もそれぞれ、病気が分かってからの日々や気持ちについて話されました。共通していたのは、もっと早く診断がつくようになってほしい、家に引きこもりがちになるので日常の居場所がもっとほしい、経済的な支援がほしい、できる仕事があったらしたい、障害者手帳などの社会制度への要望などでした。（サポーター 勝田登志子）



思いを語る松島研二さん。左は妻・恵子さん

情報コーナー 交流の場

宮城●5月1日(木)・15日(木) 午前10:30～午後3:00／翼（本人・若年）のつどい→泉社会福祉センター
埼玉●5月28日(水) 午前11:00～午後1:00／若年のつどい・大宮（北区）→地域包括支援センター 諏訪の苑
富山●5月3日(土祝) 午後1:30～3:30／てるてるぼうずの会→サンフォルテ

岐阜●5月11日(日) 午前11:00～午後3:30／岐阜市のつどい→アルトケアセンター
●5月18日(日) 午前11:00～午後3:30／各務原市のつどい→ニッケかかみ野苑
愛知●5月10日(土) 午後1:30～4:00／元気がい→東海市しあわせ村
滋賀●5月14日(水) 午前10:00～午後2:00／ピアカウンセリング→成人病センター職員会館
広島●5月3日(土祝) 午前11:00～午後3:30／陽溜まりの会東部→福山すこやかセンター

●5月10日(土) 午前11:00～午後3:30／陽溜まりの会広島→中区地域福祉センター
●5月17日(土) 午前11:00～午後3:30／陽溜まりの会北部→三次市十日市コミュニティセンター
熊本●5月3日(土祝) 午後1:30～4:00／若年性認知症のつどい→県認知症コールセンター
大分●5月10日(土) 午後1:00～3:00／若年性認知症のつどい→県社会福祉介護研修センター

詳細は各支部まで